

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：10/7～10/11

・10/7(月)

北朝鮮漁船と水産庁取締船が衝突、関電問題、自公連立 20 年、香港デモ、表現の不自由展再開、【異論反論】消費増税などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、自公連立 20 年については検証者の所感を記しました。

・10/8(火)

表現の不自由展、北朝鮮漁船問題、世耕氏と関西電力、【異論反論】儀礼の範囲などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、表現の不自由展では放送法に反する場面が見られました。また、北朝鮮漁船問題については印象操作の疑いが見られました。加えて、表現の不自由展については検証者の所感を記しました。

・10/9(水)

関電会長が辞任、トルコがシリア北部への軍事作戦開始などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、関電会長が辞任について、および番組構成について検証者の所感を記しました。

・10/10(木)

トルコがシリア侵攻、衆院予算委で論戦スタートなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、トルコがシリア侵攻については放送法上問題のあると考えられる場面が見られました。また衆院予算委で論戦スタートについては検証者の所感を記しました。

・10/11(金)

国会論戦、紅海上でタンカーが爆発、米エスパー国防長官がトルコ政府に対してシリア北部での攻撃中止を求める、政府が北朝鮮漁船との衝突映像を公表へ、大阪府泉佐野市がふるさと納税「除外」で総務相を提訴、【金曜=第三惑星】領土紛争の解決でノーベル平和賞受賞のエチオピア大統領、輸出管理問題で日韓が初会合などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上問題とされる場面は特に見られませんでした。なお、国会論戦については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月7日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：北朝鮮漁船と水産庁取締船が衝突、関電問題、自公連立 20 年、香港デモ 表現の不自由展再開、【異論反論】消費増税		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮漁船と水産庁取締船が衝突 ・関電問題 ・自公連立 20 年 ・香港デモ ・指一本でもピアノが弾ける技術 ・山梨県小 1 女児不明にボランティアが搜索 ・結愛ちゃん事件の父親に懲役 18 年求刑 ・表現の不自由展再開 ・スポーツ報道 ・故金田正一さんに追悼の言葉 ・【異論反論】消費増税 ・天気予報 ・世界陸上ドーハ灼熱の 10 日間 		
放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮漁船と水産庁取締船が衝突：結論→特に問題なし <p>スタジオで小川キャスターの「まずお伝えするニュースはこちらです。日本海で北朝鮮の漁船が水産庁の取締船に衝突し沈没しました。」というコメントの後に以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>ナレ「その漁船には多くの船員が乗り込んでいました。船体に北朝鮮の国旗が見えます。もう 1 枚の写真には放水されている様子が、黒いボートには水産庁の職員、オレンジ色の救命ボートには北朝鮮の船員の姿が。ここで何があったのでしょうか。午前九時頃能登半島沖の日本海で水産庁の漁業取締船おおくにが北朝鮮のイカ釣り漁船と見られる船と衝突しました。おおくには航行に支障のない状態ですが北朝鮮の漁船は沈没、海に投げ出された漁船の乗組員 60 人を海上保安庁の巡視船とおおくにが救助しました。第九管区海上保安本部によりますと、その後、救助された乗組員は別の北朝鮮の船が引き取ったということです。おおくには衝突する前に北朝鮮の漁船に対して、周辺の海域から退去するように警告したということです。」</p> <p>江藤拓（農水相）「向こうの船がですね、急旋回をしたためにぶつかったというふうに承知をいたしております。」</p> <p>ナレ「北朝鮮の漁船が急旋回した後、おおくにに衝突し沈没したと説明しました。今回の衝突について専門家は。」</p> <p>山田吉彦（東海大学海洋学部教授）「今回は北朝鮮側が敢えて衝突を仕掛けてきたと考えられます。海上保安庁の放水のとりしまりの仕方というのは水産庁よりもかなり厳しい、それに比べて水産庁の取締船のほうが対応の仕方が柔らかい、少し優しい、そういうところを狙ってきたのだと思います。」</p>		

ナレ「現場は石川県珠洲市の北西およそ 350 キロ、大和堆と呼ばれる一帯で日本の排他的経済水域内であり日本有数のスルメイカなどの漁場となっています。これは先月撮影された映像、暗闇の中ライトに照らされ進んでくる北朝鮮の木造船、複数の乗組員がこちらをじっと見つめています。」

イカ釣り漁船線団長「航海灯も何もつけずに乗組員が指差しているし、自分では見えないからね、本当に近くに来て船が見えて無灯火で、北朝鮮の木造船の無灯火が本当に近い所まで来て 10 メートルよりまだ近かったんじゃないかな。警笛鳴らしても何も関係なしに知らん顔でね。」

"漁船員（去年 8 月）「スルメがたくさん干してあります。」

ナレ「去年撮影された映像には船に大量のイカが。大和堆ではこれまでも北朝鮮と見られる船の違法操業が問題となっていました。北朝鮮の漁船いめがけて大量の水を放つ水産庁の取締船。水産庁はイカ漁が始まる今年 5 月から外国漁船による違法な操業をとりしめるため、船を増やして対応。8 月 5 日までに述べ 498 隻に対して退去するよう警告を実施しています、こうした日本側の取締に対応するため北朝鮮の船は大型化が進んでいるといいます。」 "

山田吉彦「これは完全に軍の管理下に置かれている漁業の司令船の役割をは多数船だと思えます、北朝鮮側は日本海、大和堆は日本の海域だとは認めていない、北朝鮮の漁場で日本が埠頭な警備行動を行っていることに対して、北朝鮮側では強く対応しているんだと言うことを国内で宣伝しています。」

ナレ「では、なぜ北朝鮮の漁船は日本の漁場を狙うのでしょうか。」

山田吉彦「ロシア海域では北朝鮮漁船に対する訃報操業の取り締まりが極めて厳しい、また北朝鮮の沿岸では中国の漁船団が北朝鮮にお金を払って大規模な漁業を行っている、結局沿岸からも締め出されロシアの海域にも入れない北朝鮮漁船団は日本の大和堆の海域まではるばるやってきて漁業を行っている。」

"ナレ「水産庁は先程記者会見を行いました。」

桑原智（水産庁漁業取締課課長）「接触した船に対してもまた、その後現れた北朝鮮籍と思われる船に対してもどちらに対しても違反創業されるようなことはしておりませんので、そういった点では目的は達しているというふうに考えております。」 "

このトピックについて当てられた時間は 338 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 関電問題：結論→特に問題なし

スタジオで小川キャスターの「続いては高浜原発のある福井県高浜町の元助役が関西電力の役員に金品を渡していた問題です。元助役は関西電力の子会社の顧問を務めていましたが、高浜町の元町長も別の子会社の顧問を務めていたことが新たにわかりました。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「関西電力の経営幹部らが福井県高浜町の元助役らから 3 億円以上の金品を受け取っていた問題。」

岩根茂樹（関西電力社長）「就任のお祝いということでいただきましたので、お菓子か何かと思ってたらその下に金貨が入っていたわけでごさいます、まあ非常にびっくりしてですね。」

ナレ「金品を渡していた森山栄治元助役、高浜原発を融資した中心人物とされていて、関電出身の子会社の顧問を 30 年以上務めていました。これに加え、高浜町の元町長も別の関電の子会社の顧問についていたことが新たにわかりました。森山元助役とともに原発の誘致に尽力した高浜町の浜田倫三元町長、町長をやめた翌年の 1983 年からなくなる 2005 年まで関電 100%出資の子会社、環境総合テクノスの顧問を務めていました。環境総合テ

クノスは環境影響評価などの調査を行う会社ではまだ元町長には報酬も支払われていたということです。原発行政を牽引した街のトップ二人が退職後関電に抱えられていた実態が浮き彫りになりました。」

"ナレ「そして、先週土曜日、関西電力本店を訪れた野党の国会議員、」

今井雅人「どなたも対応していただけないということでしょうか」

ナレ「事前に訪問を伝えていたということですが、関電側の担当者は不在でした。野党側は今日の国会でも一連の問題について追及。」 "

枝野幸男（立憲民主党代表）「関西電力の隠蔽体質と原発利権による資金還流は原発政策の根幹に関わる大問題であります、岩根茂樹関西電力社長など関係者にはぜひ参考人として国会の場で説明をいただきたいと考えております。」

安倍晋三「まずは第三者の目を入れて徹底的に全容を解明することが不可欠であり、その上で経営問題も含め、再発防止などの措置を講ずることで利用者の皆さんの信頼回復の措置を講ずることで利用者の皆さんの信頼回復に努めることが必要であると考えております。」

ナレ「安倍総理はまずは関電が設置した第三者委員会での調査の推移を見守る考えを示しました。」

VTR を受けて以下に朱記したやりとりがスタジオで繰り広げられた。

"小川彩佳「まあ野党が求めた参考人招致について安倍総理はまずは第三者委員会での調査をとということで、今日の国会では真相究明について国会ですべきというふうには言及しませんでしたけれども、この問題どうなんでしょう、国会で解明するべきなんじゃないでしょうか。」

星浩「そうですね、まずこれは非常に原発に絡んで前代未聞の疑惑と言っているいいでしょう。」

小川彩佳「そうですね。」

星浩「で、よく考えてみますとね、その民間企業だから参考人招致は必要ないじゃないかっていう慎重論も自民党にあるんですけどね、」

小川彩佳「ええ。」

星浩「しかしまあ、まず原発というのは国策であること、それから福島原発事故以来の安全対策に絡む問題だということですね、それから原発をやっている電力会社は公益事業ということでいろんな優遇措置を受けているんですね、ということからすると国政に絡みますので、これはやはり国会が国政調査権というのをを使ってですね解明すべきですし、この関電以外にもね、いろんな原発に対する不祥事があるとすればね、そこを総点検する必要が出てきていると思いますね。」

小川彩佳「他のところでも悪質なお金の還流ですとかそういった動きがないかというところですよ。」 "

このトピックについて当てられた時間は 260 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 自公連立 20 年：結論→特に問題なし

スタジオでの小川キャスターの「さて国会で論戦が始まったわけですけどね、与党である自民党と公明党が連立を組んでから 20 年という節目を迎えています。」というコメントに対し山本キャスターが「政策面では必ずしも一致しない 2 つの党がなぜ長い間連立を維持してきたのか、そしてこの関係性は今後も続くのでしょうか。」と返し、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"ナレ「今夜、自民党と公明党の幹部が一同に介し連立 20 年を祝いました、20 年の節目を迎えた家計について先

週、安倍総理は。」

安倍総理「お互いの良さを活かし、補完しあって、まさにビューティフルハーモニーではないか。」

ナレ「決して政策が近いとは言えない両党がなぜ 20 年もの間、連立政権を維持できたのでしょうか。」 "

"ナレ「公明党は大衆とともに、をスローガンに平和と福祉の党として結党しました。以来、反自民を貫いてきた公明党が自民党と連立を組むきっかけとなったのが。」

橋本龍太郎（1998 年当時、首相）「全て、私の責任です。」

ナレ「1998 年、金融機関の破綻が相次ぎその対応に批判が集まる中、自民党は参院選で惨敗。参院が過半数割れするねじれ国会に苦しむことになった小渕内閣は自由党と公明党に協力を要請し、金融危機を乗り切ろうとします。」

神崎武法（1999 年当時公明党代表）「内閣の一員として、その責任を共有すべきであると考えます。」

ナレ「1999 年、公明党が自民党、自由党の連立に加わり、自自公連立政権が誕生、その後、自民党と公明党は民主党に政権を奪われた時代をはさみ、20 年間運命をともにします、この間、公明党は自民党とは距離のある安全保障政策をめぐり、見返りと譲歩を繰り返してきました。2001 年に発生したアメリカ同時多発テロ、すぐに日本はアフガニスタンにおけるアメリカ軍の後方支援を表明しました。」 "

"小泉純一郎（2003 年当時首相）「どこが非戦闘地域で、どこが戦闘地域かと、今この私に聞かれたってわかるわけじゃないじゃないですか。」

ナレ「2003 年には小泉総理がアメリカのイラク戦争を支持。イラクにおける戦闘地域とそれ以外をいかに分けるかを問題になる中。」

神崎武法（2003 年当時公明党代表）「苦渋の選択。」

ナレ「自民、公明などが賛成しイラクとお糞法が成立します、神崎代表はイラク、サマワを視察し、反対する支持者に対し、安全面をアピールし、乗り切ります。」

神崎武法（2003 年当時公明党代表）「比較的平穏であると、こういう印象を受けました。」

ナレ「しかし 2015 年、再び両党の連立に危機が訪れます。安全保障関連法です。これまで政府が認めてこなかった集団的自衛権の行使に道を開くことになり平和の塔、公明党の看板を揺るがす事態となりました。当初反対を表明していた公明とは最終的に集団的自衛権を使える具体的な状況について国の存立が脅かされるなどの限定条件を設けることで賛同することに、ただ、直後の衆院選では比例代表の得票数が初めて 700 万票を割り込む結果となりました。」 "

"ナレ「今月から消費税の増税と同時に導入されて軽減税率は公明党が安倍総理の増税方針と引き換えに導入を主張してきました。」

山口那津男（公明党代表）「公明党が唯一軽減税率を主張してきたということからすると、与党に公明党がいることが大事なんだという連立 20 年の一つの存在意義なんだとこのように思います。」

ナレ「連立の意義を強調する山口代表、しかし今国会では新たなハードルが待ち構えています、安倍総理の彼岸、憲法改正です。」 "

"安倍総理「少なくとも議論は行うべきである、これが国民の審判であります。」

ナレ「参院選で民意が得られたとして所信表明演説でも議論を呼びかけました。」 "

"ナレ「一方、公明党は。」

山口那津男「選挙で民意が得られた、なんの民意が得られたのかさっぱりわかりませんが。」

ナレ「公明党は現行憲法を維持、新しい条文を追加するか賢を基本方針としていて、安倍総理が目指す憲法 9 条への自衛隊明記などを巡っては慎重な姿勢を崩していません。安保政策をめぐり再三の危機を乗り越えてきた両党。蜜月関係は今後も続くのでしょうか。」

VTR をうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「憲法 9 条についても安保だったり自衛隊の海外派兵についても相当に考え方の隔たりのある両党ですけれども 20 年も連立政権が続いていたのは、なぜなのか、そこにはやはり双方に相当なメリットがあったからなんですよ。」

星浩「そうですね、私もこの自公連立ずっとウォッチしてきた一人ですが、この連立というのは理念の連立というよりも利害関係の一致なんですよ、自民党は公明党という組織票がガツと乗っかると選挙に有利ですし公明党も政権に入って社会保障とか軽減税率とか色々できるというメリットがあるということなんですよ、ですから逆にその野党に転落したときにね、非常に危機が訪れたんですけども、民主党が政権を取ってですね、しかしそれが三年ちょっとで終わったものですからまあ自公の連立は事なきを得たということなんですよ、ちょうど 20 年前私も現場で取材していたんですけどもこの連立はその小渕政権なんですよ、小渕総理はまあハト派でしたのでね、公明党としても連立を組みやすかったと、そういう事情はありましたね。」

小川彩佳「うーん。まあ、ただ今の安倍政権下ではそういう状況とはまた随分違うわけで自民党との政策的な隔たりについて問われるとここ数年山口代表は公明党は国民が心配するテーマについては政権のブレーキ役を果たすというふうに訴えてきていますけれどもこのブレーキ役としての機能については星さん、同ご覧になっていますか。」

星浩「そうですね、まあ安保法制はどうにか折り合ったところなんですよ、憲法改正というのはまさに理念そのものですのでね、なかなか折り合うのも難しいですし公明党を支持している創価学会の婦人部も憲法改正は大反対ですので山口さんもなかなかそこは譲れない一線だと思うんですよ、ですからおそらく自民党の中もポスト安倍がどうなるかっていうのもちょっと不透明なので公明党の本音としてはしばらく憲法改正は先送りしたいなというところなんですよ。」

このトピックに当てられた時間は 482 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・香港デモ：結論→特に問題なし

小川キャスターの「さてかわりまして、香港情勢です、覆面禁止法の制定に市民たちの反発も強まりさらに混乱が深まっています、今夜は地下鉄の運行が全てストップしました。」というコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"森岡紀人（報告）「ハンマー、金槌のようなもので信号機を殴って潰しています。」

ナレ「デモ参加者のマスク着用を禁じる覆面禁止法が施行されてから今日で三日目。各地で抗議活動が続いています。参加者は敢えてマスクを着用することで抗議の意思を示しています。」

森岡紀人「午後 7 時半過ぎです。今、警察が強制排除に乗り出しました。デモ隊が道路を封鎖したため。今警察が強制排除に乗り出しました。」

ナレ「未だ自体の収束は見えていません、また香港の地下鉄はデモ隊に破壊された駅の復旧のために全線で運休

に。昨日行われた抗議デモでは地下鉄の駅が放火された他、中国系の銀行や中国の看板を掲げる企業などが狙われ、市民生活に影響が出ています。」

記者「足元のところに催涙弾が飛んできました。」

ナレ「香港島では当初、平和的にデモ行進が行われましたが、警察は違法な集会だとして強制排除に乗り出し衝突に発展、一方九龍地区では中国人民解放軍の基地の建物の緑や青の光が照射されています、デモ隊が兵士にむけてレーザーポインターを照射しているのです、舞台側は法令に違反していると警告、人民解放軍がデモ隊に直接警告するのは初めての事です。」

林鄭月娥行政長官「覆面禁止法は過激な違法行為の阻止や警察の法の執行に役立つ。」

ナレ「香港政府は4日、緊急時に行政庁感の権限で様々な規制を設けることができる緊急状況規制条例を設けることができる、緊急状況規制条例を発動し、覆面禁止法を制定、マスクの着用を禁止することによって、デモ隊の過激な行為を抑制する狙いがありましたが、反対する市民らによって各地で抗議デモが次々と勃発しました。この日、でもに参加していた14歳の少年が警察官に太ももを撃たれ重症、警察は襲われた警察官が自衛のために発砲したと説明しましたが1日には18歳の男子高校生が撃たれており、警察官による相次ぐ発砲がデモ参加者の感情に油を注ぐ事態となっています。」

"抗議デモ参加者 A「マスクをすることや集会は市民が持っている権利です。」

記者「マスクの禁止についてどう思う？」

抗議デモ参加者 B (11)「撤回してほしい」

デモ「覆面は無罪だ、立法の道理がない」

ナレ「覆面禁止法に違反した疑いで今日までに18人が逮捕され香港メディアによるとそのうち2人が逮捕されました、ネット上では毎日夕方に抗議集会が呼びかけられています。」

このトピックに当てられた時間は256秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・表現の不自由展再開：結論→特に問題なし

表現の不自由展の再開について以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

大村秀章（愛知県知事）「明日10月8日火曜日からあいちトリエンナーレの参加作家が全員復帰して全面再開をいたします。」

ナレ「愛知県の国際芸術祭で中止となっていた表現の不自由点について大村知事は明日午後から展示を再開すると発表しました、安全対策などで再開に向けた協議が難航していましたが手荷物を預けるなど安全対策を強化したうえでガイドツアー方式で再開するという事です。」

このトピックに当てられた時間は35秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】消費増税：結論→特に問題なし

スタジオでの山本キャスターの「消費増税から一週間、軽減税率やポイント還元などの複雑な仕組みに戸惑いの声も上がっています、あなたは買い物などで困ったことはありませんか。異論反論。」というコメントに以下に朱記したVTRが続いていた。

"80代女性 A「どれが10%上がってどれが8%か全然わからない後で家帰って領収書を見ようと持ってるんです

けれども。」

70代女性B「ポイントがつくっていうけれども、あれがちょっとまだわからない。」

30代男性C「アイス、ビール」

記者「ビールは10%？」

30代男性C「はい、そうです。」

記者「アイスは？」

30代男性C「アイスはちょっとわからないですね、意識はあんまりしていないですね。意識し続けるのもちよつと疲れちゃうので。」

洋菓子店店長（40代）「家賃が上がったり、色んなものが上がってくるので、一律10円ずつ値上げする。」

飲食関係経理職（60代）「分かりづらいです、納品書自体もすごくめんどくさい、チェックするのに、もう10%にするなら全部してもらいたい。」

70代女性D「なかなかね、そういうキャッシュレスにしないでしょ。」

30代男性E「こまるというよりは、しっかり還元とかを活用して上手に付き合っていきたいなと思っています。」

ナレ「以上、オブジェクションでした。」

このトピックに当てられた時間は90秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・自公連立20年

星キャスターが「ちょうど20年前私も現場で取材していたんですけどもこの連立はその小渕政権なんですけれども、小渕総理はまあハト派でしたのでね、公明党としても連立を組みやすかったと、そういう事情はありましたね。」と述べていたが、小渕総理が「ハト派」というのは一体小渕総理および小渕政権の何を見てどのように評価したのだろうか。

小渕総理のもとでの自公連立政権での実績と言え、周辺事態法（日米ガイドライン）、憲法調査会設置、国旗・国歌法、通信傍受法、住民票コード付加法（国民総背番号制）などの重要法案を次々に成立させたことが挙げられるが、果たしてこれは「ハト派」の政策なのだろうか。実績を見るからには小渕総理が「ハト派」というのはいささか疑わしいのではないだろうか。

こうした事実を無視して「小渕総理はハト派」などと印象論を垂れ流すのは、放送法第四条一項三号の「報道は事実を曲げないですること」に直ちに抵触するとは言えないまでも、この観点からは望ましくない発言であるといえるだろう。

小渕総理を「ハト派」と評するのであれば、やはりそう評価できるだけの材料を提示するべきであろう。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月8日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：表現の不自由展、北朝鮮漁船問題、世耕氏と関西電力、【異論反論】儀礼の範囲		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー台風が関東直撃か ・表現の不自由展 ・先生が先生にいじめ ・選手との対立で揺れるテコンドー協会 ・北朝鮮漁船問題 ・世耕氏と関西電力 ・瞳に写った景色で自宅を特定か ・ヤフー社員食堂で揚げ物税 ・下着泥棒犯行の一部始終 ・19歳史上最年少の囲碁名人誕生 ・スポーツ報道 ・【異論反論】儀礼の範囲 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の不自由展：結論→極めて問題あり <p>スタジオでの小川キャスターの「あいちトリエンナーレの企画展、表現の不自由展、抗議や脅迫も相次いだことで開幕からわずか3日で中止に追い込まれましたが、今日、2ヶ月ぶりに再開しました。」というコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>村瀬健介（報告）「表現の不自由展の展示会場の目の前ですけれどもご覧のようにですね抗議活動をしている人がいます。」</p> <p>河村たかし名古屋市長「トリエンナーレ再開はとんでもない、表現の自由という名のこれは暴力だ、これは」</p> <p>ナレ「抗議集会の真ん中でマイクを握っていたのは名古屋市の河村市長。午後2時過ぎ、あいちトリエンナーレの会場の外で抗議の座り込みを行いました。」</p> <p>河村たかし「知事は名古屋市民の声を聞け。」</p> <p>ナレ「河村氏が反発したのは愛知県の大村知事による昨夜の発表です。」</p> <p>大村秀章（愛知県知事）「10月8日火曜日からあいちトリエンナーレの参加作家が全員復帰して全面再開をいたします。」</p> <p>ナレ「従軍慰安婦を象徴する少女像などを展示し抗議や脅迫を受けて中止となっていた表現の不自由展、その後、この企画展が今日、再開されることになったのです。」</p> <p>河村たかし「これは名古屋市営、愛知県営主催、これ、国の補助金まで出ている。これ、こういうところでやる</p>		

のはやめてくれということですよ、何でかと言ったら、それは名古屋市民、愛知県民、日本国民が認めたことになるんですよ、この内容を、それはいかん。それは」

"ナレ「同じ頃、企画展の会場には入場を希望する長蛇の列ができていました。」

村瀬健介「ご覧のようにホールにはお客さんが溢れていますけれども。実は展示会場に入れるのはこのうち 30 人だけなんです。」

ナレ「今日の抽選は 2 階、希望者は 1300 人以上集まりましたが合わせて 60 人以上が会場への参加が許されました、人数制限の目的は安全の確保、身分証を提示して手荷物を預けた後は、」

村瀬健介「こちらが展示会場の入り口ですけれどもこのように金属探知機を使った検査が行われていまして、美術展の展覧会の入り口とは思えない雰囲気となっております。」

ナレ「会場ではガイドが同行、SNS への投稿は禁止され、報道陣も中の取材は許されませんでした。」 "

"再開した企画展を見た人「色々考えさせられることがあっていわゆる報道だけで受けた印象とは多少違ったのかなという気はしました。」

あいちトリエンナーレの来場者「はっきり言って、嫌な思いしかさせないんじゃないですか、そんなものに税金使うなんてありえない。」 "

ナレ「2ヶ月前、あいちトリエンナーレの事務局には抗議や脅迫の電話、そしてメールが相次いでいました。」

事務局への抗議電話「お前、バカヤロー何でこんな政治的に問題になっているものを何で取り上げるの、どういう無神経なやつだ、おまえたちは。」

ナレ「安全上の理由で開幕からわずか 3 日で中止に、この事態に愛知トリエンナーレに参加するアーティストたちは危機感をあらわにしました。」

小泉明郎（「表現の不自由展・その後」に参加）「美術館という空間でできる表現のできる幅がどんどんどんどん狭くなってきているというのを私達は今体験しています。で、あいちトリエンナーレで今何が起こっているかと言うと、この自由の根源が崩壊するのか、それともここで今、我々が食い止めるのかその分岐点に我々はあると思っています。」

"ナレ「アーティストの有志は閉ざされた会場の扉を使いあるプロジェクトを介し、来場者に日常生活に感じる不自由さを記してもらい企画展の再開を求める声を目に見える形で示していきました。プロジェクトの中心メンバーは」

ホンマエリさん（「あいちトリエンナーレ」に参加）「オーディエンスの人たちが支えてくれたっていうのは本当にめちゃくちゃ大きかったと思います、沢山の人があの壁の前で立ち止まって、すごい長い時間不自由について考えてくれてそれに自分の言葉を欠いてくれた、それってすごい大きかったですし。」

ナレ「アーティスト自身のこうした活動もあり企画展は今日の再開に至ったのです。」

津田大介「参加作家による再開に向けたプロジェクトが支援になった部分もあるし、みんなで掴み取った再開なんだなということは思っていますし、そういう意味では関係各所には感謝しかないです。」 "

"ナレ「実際に展示を見た人は。」

再開した企画展を見た人 A「まあ少女像もそこまでアピールされているから嫌な思いをするだけであって、それだけ作品を見れば平和のために、まあそういうご意見もありますかね、という感じにはなりましたね。」

再開した企画展を見た人 B「必ずしも全部が心地いいわけではなかったですけどもその分自分も考えさせられ

たことがあったので良かったと思います。見ていいか悪いかっていうのはですね、どなたか一定の方の意見だけで決められることじゃないと思うので、公開されたのはいいことだと思っています。"

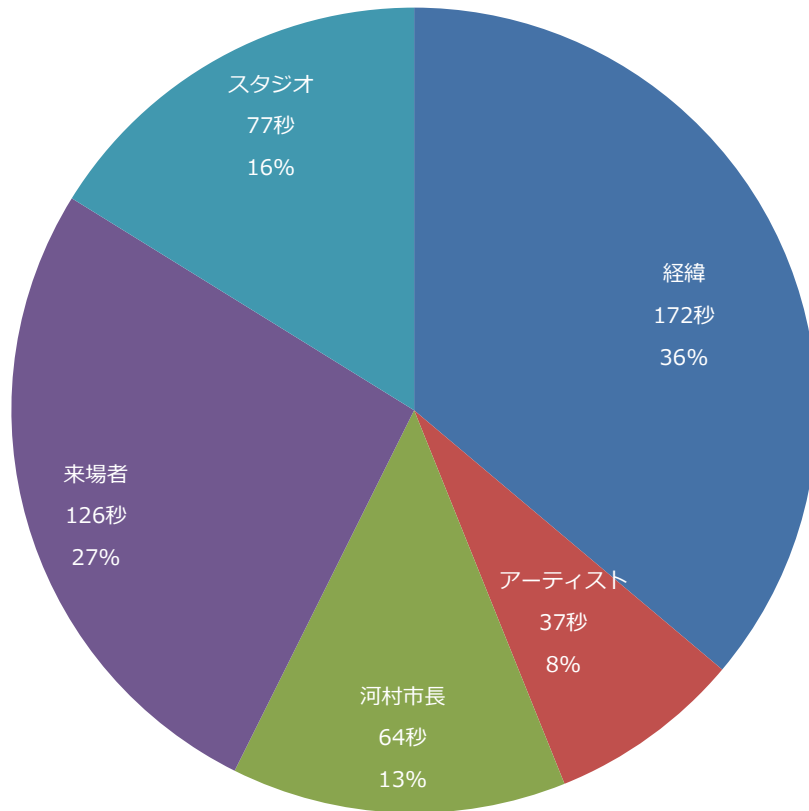
ナレ「あいちトリエンナーレは今月 14 日まで、残りの会期は一週間です。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「あのこの展示に携わった海外の関係者、ドイツの方なんですけれどもお話を伺ったんですけれども、この表現の不自由展をめぐる経緯が図らずとも、日本における表現の不自由を考えさせるものとなっている、ということ非常に興味深く感じているようでした、まあ展示再開にはこぎつけましたが表現の不自由展としてはなんとも皮肉な展開に、これ星さんなっていますね。」

星浩「そうですね、まあ脅迫を受けて一旦中止になったんですけれどもそのまま中止ということでは、これはもう脅迫に屈したということになるので再開ということ自体非常に評価していいと思うんですね、ただその今回の問題で脅迫には絶対に屈しない姿勢というのは大事ですよ、ということとこれだけ野心的な試みをやるからには準備も十分整える必要があるということですよ。それからまあ展示の内容を見てねそれに賛成反対という議論をするのも大いに結構なことですし、まあ展示の内容に反対だけ議論の材料になるんだからいいという考え方もありうるわけで、まあとにかく表現の自由というのは民主主義の根幹ですし、憲法でも保障されているわけですし、それを守るにはどうすればいいか、ということを考える非常に大きなきっかけを作ってくれたと思いますね。」"

このトピックに当てられた時間は 476 秒で、経緯を説明した部分、アーティストの主張を取り上げた部分、河村市長の主張を取り上げた部分、来場者のコメントを取り上げた部分、スタジオでのやり取りそれぞれに当てられた時間及びその比率は以下の通りであった。



それぞれの立場を取り上げた部分としては時間配分での偏りはなかったと言えるが、河村市長が問題視している「国や地方公共団体の補助金が出ているということは、その表現に内容に公権力がお墨付きを与えたという事になりかねない」という論点については、アーティストとスタジオの見解は擁護的であったため、そういう意味では放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に照らして問題であるといえる。

また、河村市長の抗議のシーンのVTRでは「天皇御真影を燃やすな」というプラカードも掲げられていた。

この「天皇御真影を燃やすな」とはどのようなことなのだろうか。

今回も含めてこれまでの報道では伝えられていないこともあり、視聴している限りでは唐突な印象を受けた。表現の不自由展の展示の中に「天皇御真影を燃やす」というものがあったとすれば、それはこれまで報じられてきたものに加えて新たな問題が存在していた、ということになるが、もしそうだとすればなぜこれまで報じられてこなかったのだろうか。そして、なぜ今回のプラカードが写っていてもそれをまったく無視黙殺するかのような報じ方をするのであるだろうか。

仮に、今回の展示の中に「天皇御真影を燃やす」というものがあり、それをメディアが意図的に報じてこなかったとすれば、そのことによって一つの問題点が隠蔽された形で伝えられていた、と言えるだろう。これは放送法第四条一項三号「報道は事実をまげないですること」に反する行為であると言える。また同四項「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らしても極めて問題のある報道と言える。

・北朝鮮漁船問題：結論→特に問題なし

スタジオでの小川キャスターの「水産庁の船と北朝鮮漁船が衝突した問題で、日本政府は今日、北朝鮮に講義したことを明らかにしました、一方で乗組員を一人も拘束せず北朝鮮側に引き渡した対応について与党内からも疑問の声です。」というコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられた。

"ナレ「今朝、新潟の港に帰ってきたのは水産庁の取締船、おおくに。船首部分には昨日北朝鮮の漁船と衝突したときにできたと思われる傷が見えます。一方の北朝鮮の漁船は衝突直後に沈没、膿に投げ出された漁船の乗組員 60 人については日本側が救助し、別の北朝鮮の船に全員を引き渡したということです、この対応を巡って今日、自民党内からはこんな批判が上がりました。」

自民党議員「なぜ北朝鮮の乗組員から事情を聞くことすらせず、そのまま返してしまったのか。」 "

ナレ「水産庁などの発表によれば衝突事故は日本と北朝鮮の中間付近石川県の能登半島沖、北西 350 キロの地点で起きました、沿岸からおよそ 370 キロまで設定できる日本の漁業権が及ぶ範囲、排他的経済水域の内側です。もしこの海域で北朝鮮の漁船が操業していたら違法行為となりますが水産庁の取締船が漁船の乗組員を拘束しなかった理由について安倍総理は。」

安倍総理「今回沈没した漁船による違法操業破格にされていないことなどから身柄の拘束といった強制措置は行わず、水産庁取締船が嚴重に警告のうえ、我が国排他的経済水域から退去させております。」

ナレ「違法操業は確認されなかったという説明、水産庁が公開した漁船の写真からも操業している様子は伺えません。ただ、もし違法性がなかったとするなら民間の船に対して航海上で放水したことをどう法的に説明するかなど疑問は残ります、一連の経緯は動画でも撮影されていると見られますが、水産庁はそうした映像があるかどうかについても明らかにしていません。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「北朝鮮漁船に対しては音声に加えて放水による警告が行われた、そして漁船が沈没するほどの衝突に至ってしまった、にもかかわらず乗組員には一切の事情聴取はなくそのまま返されたという、この手続は妥当だったのでしょうか。」

星浩「そうですね、2点問題があると思いますね、一つはその放水したからにはなにかその違法操業があったと認定したわけですから、それなのに事情聴取もしないで返した。もう一つはその日本の水産庁の船が損傷していますから、これ国有財産に被害を受けたということですよ、これについても本来は事情聴取をしなくちゃならないわけで、自民党の幹部に聞いてみると、今の政権、安倍政権がね、北朝鮮と首脳会談を目指している、そういう状況の中でその水産庁とか海上保安庁とかに配慮があって事情聴取を見送ったということがあったとすると非常に重大なので、さらにその追求する必要があると言っていますが、これおそらく自民党の中だけではなく国会でも色々議論院あってくると思いますね。」

小川彩佳「そうですね。」 "

このトピックに当てられた時間は 251 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・世耕氏と関西電力：結論→特に問題なし

スタジオで小川キャスターが「さて、続いてのニュースです、自民党の世耕参議院幹事長が過去に関西電力幹部に金品を渡していた人物を雇用していた会社、社長から合わせて 600 万円の献金を受け取っていたことがわ

かりました。」とコメントした後に、VTR とともにナレーションによって「政治資金収支報告書によりますと、世耕氏が代表を務める資金管理団体が2015年までの4年間に原発プラントのメンテナンスなどを行う会社の社長から合わせて600万円の個人献金を受けていました、この会社の主な取引先には関西電力が含まれていますが関係者によりますと関西電力幹部に多額の金品を渡していた福井県高浜町の森山元助役が退職後この会社に雇用されていたということです。世耕氏側は元助役との面識はまったくないとした上で適法な献金であり返金は考えていないとコメントしています。」と伝えられた。

このトピックに当てられた時間は65秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】儀礼の範囲：結論→特に問題なし

スタジオで山本キャスターが「関西電力の役員らが多額の金品を受け取っていた問題、役員らは受け取った50万円相当のスーツ仕立て券について儀礼の範囲内と釈明しました。みなさんにとってはどこまでが儀礼の範囲ですか。異論反論。」とコメントをした後に以下に朱記したVTRが取り上げられたていた。

40代男性A「上限、数千円。お菓子くらい。」

記者「お中元お歳暮はどれくらいの金額が。」

50代男性B「5000円、か15000円くらいじゃないでしょうかね。」

記者「もらって嬉しかったものは」

50代男性B「ビールですかね。やっぱり値段がわからないものはちょっと、なんとなく裏がありそうで嫌。」

60代男性C「6000円とか3000円とか、まあね、挨拶ですからね。」

記者「50万円のスーツ券について」

50代女性E「逆に怖くないですか、50万もするドレスがポンと頂いたりとかしたら。」

記者「結婚嵐とかああいう上限とかいうのはいくら位ですかね。」

20代男性F「一般的に3万円とか親族とかだと3万5万とか。」

30代男性G「会社の中だとお歳暮お中元の文化がなくて、それで仕事をもらったとしても後が続かないと思う。」

70代男性H「越後屋の菓子折りの裏に小判がはいっているような物というのはやっぱりきれいな贈り物ではないですよ、本当に感謝するんだったら感謝する仕方っていうのが別にあると思うんですよ。」

ナレ「以上、オブジェクションでした。」

このトピックに当てられた時間は89秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・北朝鮮漁船問題：印象操作のおそれあり

VTRでナレーションが「この対応を巡って今日、自民党内からはこんな批判が上がりました。」と伝える場面で石破茂衆院議員と中谷元衆院議員の映像が映し出されていた。一方で、自民党内からの批判の紹介では「なぜ北朝鮮の乗組員から事情を聞くことすらせず、そのまま返してしまったのか。」という批判の声の主は「自民党議員」と実名がふせられて紹介されていた。

実際に自民党内で誰が批判をしているのかはこの報道からは明らかになっていないが、今回のような報じ方で

は、いかにも石破氏や中谷氏が批判しているという印象を与えるものであり、印象操作のおそれのあるものだった。

検証者所感

・表現の不自由展

VTR で河村たかし名古屋市長の「トリエンナーレ再開はとんでもない、表現の自由という名のこれは暴力だ、これは」、「これは名古屋市営、愛知県営主催、これ、国の補助金まで出ている。」という発言が取り上げられていた。この展示がアーティストのポケットマネーであるとか民間有志による寄付で行われているのであれば、まったく問題ないだろうが、公金が投じられている。補助金の原資は現在あるいは将来の税金であり、税金はトリエンナーレに賛同する人からもしない人からも強制的に徴収されるのだから、特定の人間の表現を支援するために徴税するというのは「表現の自由」という名の暴力、というのは一理ある話である。

「表現の自由」というのは、特定の表現者が補助金を使って表現活動を行うことまで射程に含んでいるものなのだろうか。表現の不自由展・その後」に参加した小泉明郎氏の「美術館という空間でできる表現のできる幅がどんどん狭くなってきているというのを私達は今体験しています。で、あいちトリエンナーレで今何が起きているかと言うと、この自由の根源が崩壊するのか、それともここで今、我々が食い止めるのかその分岐点に我々はあると思っています。」というコメントが取り上げられていたが、美術館でどのような表現が可能かということはその美術館の所有者とのあいだでの合意によるとしか言いようのないものであり、極端な話、小泉氏が美術館を自己所有しているのであれば、おおよそどのような表現でも可能であろうし、その意味では表現の自由の根源はまったく揺らいでいないのではなかろうか。

また、本来、表現活動を政府公権力によって妨害されないことを「表現の自由」としていたものが、スタジオでの論調は「特定の表現者が政府公権力によって補助金を受けて表現を行うこと」という意味にすり替えられてしまっているような印象を受けた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月9日
<p>出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕 竹内薫（科学ジャーナリスト、吉野彰氏とも親交がある）</p>		
<p>検証テーマ：関電会長が辞任、トルコがシリア北部への軍事作戦開始</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーベル化学賞に吉野氏 ・吉野氏との中継 ・最強台風に気象庁が異例の緊急会見 ・関電会長が辞任 ・テコンドー協会理事会音声入手 ・トルコがシリア北部への軍事作戦開始 ・東京葛飾区で高さ 40 メートルの重機が倒れバイクが下敷きに ・スポーツ報道 ・【異論反論】#コンビニの時短 ・天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関電会長が辞任：結論→特に問題なし <p>スタジオの小川キャスターの「不透明な原発マネーをめぐる問題で動きがありました。」というコメントおよび山本キャスターの「関西電力の幹部らが福井県高浜町の元助役から多額の金品を受け取っていた問題、関西電力は経営トップの八木会長らの辞任を発表しました。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>"八木誠（関西電力会長）「あらためて深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ございません。」</p> <p>ナレ「会見の冒頭、深々と謝罪した八木誠会長。」</p> <p>八木誠「今般の自体の経営責任を明らかにするため辞任することとしました。」</p> <p>ナレ「自らの辞任を明らかにしました、岩根茂樹社長については新たに設置される第三者委員会の調査の結果が出た後に辞任することが発表されました。」</p> <p>岩根茂樹（関西電力社長）「第三者委員会の調査・原因究明等に真摯に対応していくことが経営トップとして本件に関わってきた私に課せられた最後の責務であると考えたからです。」</p> <p>ナレ「今回の問題は八木会長や岩根社長など 20 人が福井県高浜町の森山栄治元助役などから合わせて 3 億 2000 万円分の金品を受け取っていたというものです。高浜原発を誘致した中心人物とされる森山元助役。3 億 2000 万円分もの金品をどのようにして用意したのでしょうか、実はこれまでの調査で自身が顧問を務める地元の建設会社から多額の裏金を受け取っていたことが確認されています。そしてこの建設会社に工事を発注していたのが関西電力。さらには関電の子会社で森山本助役を 30 年以上に渡って非常勤顧問として起用した会社があることがわかっています。」</p> <p>"八木誠「再発防止対策を確立しこれを実施していくということが私の今の務めだと思っています。」</p>		

ナレ「今月 2 日の会見で辞任しない意向を示していた二人がなぜ、一転して辞任することになったのでしょうか。」
岩根茂樹「2 日の会見以降にですね、より様々なご批判というようなことがですね、我々の耳に入りました、またいろんな方からもそういうお話を聞きまして、やはり我々現社長・会長ですね、非常に責任は重いというふうに感じました。」

ナレ「今回の問題が起こった背景について問われると。」

八木誠「過去からの慣習ですね、個人の判断に委ねてしまって、会社として組織的にやっぱりこういう問題に毅然として対応するという判断ができなかったということが私としての大きな誤りだったと思っています。」

岩根茂樹「企業風土が変わるのであればですね、八木と私がやめればいいんですけどもやはり、もう少しですね、そこ深いもの、歴史的なものがあるというふうに思ってございますのでやはりその全貌を徹底的に暴き出すということが行わないとですね、もう一度信頼していただける関西電力に生まれ変われないと思っています。」

ナレ「関西電力は第三者委員会に対し 12 月下旬を目処に調査結果をまとめるよう求めています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「トップの引責辞任に発展したわけですけども、今回の問題金品の授受によってどんな見返りがあったかがわからない部分が多いわけですけども、今後まず、星さん明らかにされるべきなのはこういったことなのではないでしょうか。」

星浩「まあ最大のポイントはですね、私達の払っている電気料金がどういうふうに還流したのか、原発マネーとして動いたのかということですね、この森山元助役が払ったお金、これ森山さんのポケットマネーではありませんので、地元の建設会社から裏金からきた、で地元の建設会社は関電から工事発注を受けていた、ということで結局はやはり関電からのマネーが還流しているんじゃないかという構図が見えてきたわけですよ、でもともとは電力料金、公共料金なわけでそれがどういうふうに使われてその狙いがどこにあったのか、非常に解明すべき点が多いと思いますのでやはりこの八木会長、岩根社長が一番良くその事情を知っているわけですからぜひ国会にでてきて真相を話してもらいたいと思いますね。」

小川彩佳「そうですね。」

このトピックに当てられた時間は 306 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・トルコがシリア北部への軍事作戦開始：結論→特に問題なし

ナレーションによって「トルコのエルドアン大統領は先程、シリア北部のクルド人支配地域への軍事作戦を開始したと明らかにしました。すでに空爆や砲撃が確認されています。クルド人勢力はアメリカの支援のもと過激派組織イスラム国の掃討作戦で前面に立ちましたが、トルコはその一部をテロ組織と指定し、国境地帯からの排除を目指しています。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 28 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・ 関電会長が辞任

スタジオで星キャスターは「もともとは電力料金、公共料金なわけでそれがどういうふうに使われてその狙いがどこにあったのか、非常に解明すべき点が多いと思います。」とコメントしていたが、そういう意味ではあいちトリエンナーレの問題も同様に、我々の税金が使われていたのだから追及すべきという話になるのであって、そこに「表現の自由」という「聖域」を認めたり、文化や表現の領域での利権には目をつぶったりする、というのは好ましいことではないだろう。

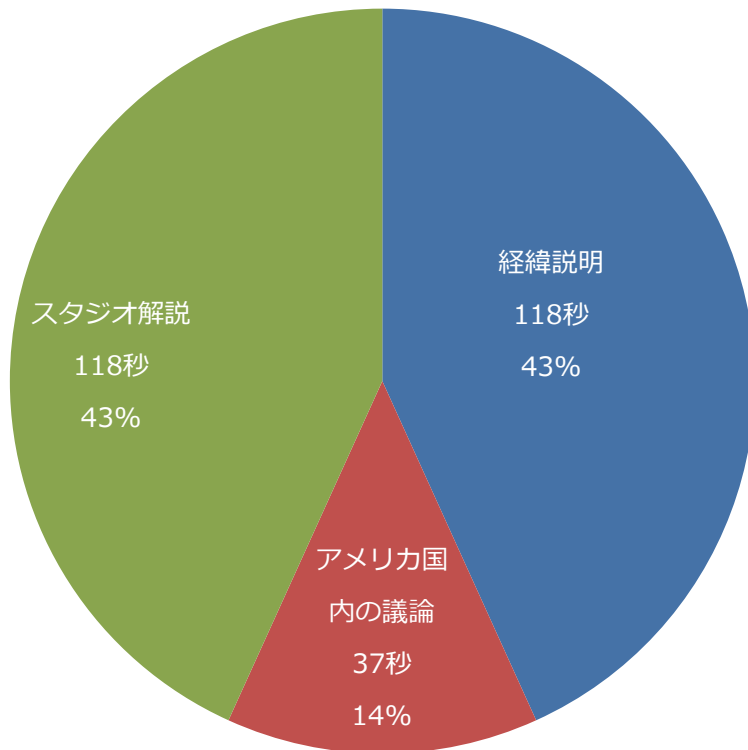
あいちトリエンナーレについても真相究明のため徹底した追及を期待している。

・ 番組構成について

今日は吉野氏のノーベル化学賞受賞が決まったということで番組もかなり多くの時間がそちらにあてられていた。大変おめでたいことであり、また日本人がノーベル賞を受賞するというのは大ニュースであることから、こうした時間配分になったのだろう。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年10月10日
出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕		
検証テーマ：トルコがシリア侵攻、衆院予算委で論戦スタート		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風19号警戒強まる ・千葉ゴルフ練習場の住民説明会 ・ノーベル化学賞受賞 ・鹿児島県サッカー部暴力事件 ・トルコがシリア侵攻 ・newstories <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭いじめ問題 ・セブンイレブンが店舗閉鎖・移転 ・衆院予算委で論戦スタート ・神戸で銃撃 ・サンマ漁獲量過去最低 ・スポーツ報道 ・#異論反論 objection 「台風19号への備え」 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トルコがシリア侵攻→結論：放送法第四条に抵触。 <p>今回はトルコがシリアのクルド人支配地域に対して攻撃を加えている問題について、その背景について、アメリカの動きを中心に報じられた。今回の報道に充てられた報道時間は273秒で、経緯説明・アメリカ国内の議論・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は以下の通り。

小川「続いてのニュースに参ります。トルコが長年敵視してきたクルド人勢力の排除に向けた攻撃を始めました。」
 山本「この影響で、過激派組織イスラム国が再び台頭する恐れがあります。一体何が起きているのでしょうか。」
 ナレーター「シリア北東部のクルド人支配地域に軍事攻撃を開始したトルコ軍。攻撃対象はクルド人勢力のシリア民主軍で、これまで民間人5人を含む少なくとも8人が死亡しました。クルド人勢力は、アメリカの支援を受け、これまで過激派組織イスラム国の掃討作戦においてその中核を担ってきました。一方トルコは、そのクルド人勢力の一部をテロ組織と指定し、国境からの排除を目指しています。こうした中、アメリカはトランプ大統領の判断で、現地のアメリカ軍の撤収を始めたのです。」

トランプ大統領「(事態がエスカレートし、エルドアン大統領がクルド人を全滅しようとすることを心配しているか?) もし、そんなことが起きれば、私はトルコの経済を全滅させる。」

ナレーター「トランプ大統領はこう、けん制したほか、トルコの攻撃を支持しないと表明しました。米軍の撤退を巡っては、クルド人勢力はもとより、与党共和党からも「裏切り行為」との批判が強まっています。」

グラハム上院議員「議会はトルコに対して、攻撃のゴーサインは出さないし、クルド人を見捨てるつもりもない。」

ナレーター「トルコによるクルド人支配地域への攻撃が長引けば、再びイスラム国の台頭を招く可能性も出てくるほか、アメリカと対立するシリアのアサド政権やイランがこの地域で影響を強める可能性も出てきます。日本への影響は。」

安倍首相「我が国のエネルギー安全保障上、死活的に重要であり、この地域の安定と平和は我が国の国益に直結している。」

ナレーター「こうした事態を受けて、国連の安全保障理事会は現地時間の今日、非公式の会合を開き、対応を協議することとしています。」

小川「このシリアをめぐる情勢は大変複雑ですので、山本さんに整理していただきます。」

山本「はい。この地域はイスラム国をどうするのか、という大きな問題があったわけなんです。アメリカはシリア北部を拠点とするクルド人勢力を拠点として、武器を送るなどしてイスラム国と戦わせていたんですね。これによって、イスラム国は弱体化したんですが、トランプ大統領が突如、新たな決定をしました。この地域からアメリカ軍を撤退させ始めたのです。これによって、アメリカという大きな後ろ盾をクルド人勢力は失ったわけですね。ここで現れたのがトルコです。トルコは長年、クルド人勢力を敵対してしまっていて、国境地帯から排除したいとの思いがありました。ですので、9日、攻撃を始めたわけですね。」

小川「アメリカ主導のイスラム国掃討作戦に利用されて、その矢面に立ってきたクルド人勢力が、そのアメリカの撤退によって深刻な被害を受けていると、これはたまらないですよ。クルド人勢力からは。」

星「クルド人からすると、アメリカと協力してイスラム国と闘ってきたのに、トルコから攻撃を受けるというわけですよ。加えて、国内ではイスラム国が息を吹き返してくるという、踏んだり蹴ったりということで、非常に深刻な事態となっていると思いますね。」

小川「そういった事態が予想されるにも関わらず、どうしてトランプ大統領は撤退を決めたのでしょうか。」

星「これはもうはっきりしているのは、トランプさんは、来年のアメリカ大統領選に向けて、こういう危険な地域からアメリカ軍を撤退させるんだという実績を作りたいわけですよ。ところが、与党の共和党からも『クルド人を見捨てるのか』という反発が出たりして、アメリカ国内でも非常に評判が悪いと。アメリカ・ファーストとか、自分の選挙ファーストで取り組んできたことが裏目に出ているという形だと思いますね。」

小川「思惑が外れたというところでしょうかね。」

時間配分を見ると、「アメリカ国内の議論」の時間配分の比率が大きく下回っているが、逆にいえば、これは今回の報道ではそれ以外の議論が報道されていないということになる。この結果を見ると、放送法第四条第一項四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に抵触している。

・衆院予算委で論戦スタート→結論：結論→特に問題なし

今回は、衆院予算委がスタートしたことが伝えられた。安倍首相が憲法改正論議を呼びかける様子が伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は33秒で、経緯説明のみの内容であった。

報道の内容は以下の通り。

安倍首相「9条に自衛隊を明記するということは大変大切なことだと思っていますから、それをご議論いただきたいと思っておりますが、まさに憲法審査会でご議論いただく。」

山本「国会は今日から衆議院予算委員会で論戦が始まりました。憲法改正などについて議論が交わされ、国民民主党の玉木代表が自民党の改憲案から9条改正を取り下げるよう提案したのに対し、安倍総理は応じず、憲法審査会で改憲論議を進めるよう呼びかけました。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

- ・衆院予算委で論戦スタート

今回は概要のみの報道であったが、論戦が本格化していく中で、報道も本格的なものとなることを期待している。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月11日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
<p>検証テーマ：国会論戦、紅海上でタンカーが爆発、 米エスパー国防長官がトルコ政府に対してシリア北部での攻撃中止を求める 政府が北朝鮮漁船との衝突映像を公表へ、大阪府泉佐野市がふるさと納税「除外」で総務省を提訴 【金曜=第三惑星】領土紛争の解決でノーベル平和賞受賞のエチオピア大統領 輸出管理問題で日韓が初会合</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風 19 号、明日 “史上最強” で関東上陸の恐れ ・ 国会論戦 森友学園問題に関する小泉環境相の過去の発言に対し野党議員から激しいヤジ 菅原経産相事務所による公選法違反疑惑 ・ 紅海上でタンカーが爆発 ・ 神戸市の小学校で教員同士のいじめ、被害者の男性教諭が 50 項目にわたる被害を訴える ・ 米エスパー国防長官がトルコ政府に対してシリア北部での攻撃中止を求める ・ 政府が北朝鮮漁船との衝突映像を公表へ ・ コカコーラ社、世界初アルコール飲料を日本市場で投入 ・ イランで女性のサッカー観戦を革命以来 40 年ぶりに解禁 ・ 大阪府泉佐野市がふるさと納税「除外」で総務省を提訴 ・ 最高裁が大川小の津波対策の不備を認め宮城県などに対して賠償を命じる ・ 【金曜=第三惑星】領土紛争の解決でノーベル平和賞受賞のエチオピア大統領 ・ 【最新】輸出管理問題で日韓が初会合 ・ スポーツ報道 ・ 天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国会審議→結論：問題なし 小川キャスターの「国会です。半年ぶりに開かれている安倍総理出席の予算委員会で、小泉進次郎大臣の答弁に激しいヤジが飛びました」というコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。 辻元清美衆院議員（立憲民主党、党幹事長代行）「森友学園の文書改ざんの問題で、小泉大臣は「平成の政治史に残る大きな事件」と仰った。」 ナレーター「立憲民主党の辻元議員が狙いを定めたのは、小泉進次郎環境大臣。森友問題に対する過去の発言を質しました。その発言とは？」 小泉進次郎環境相（自民党）「何が真実なのかね。これはやはり知りたいですね。なんで（公文書を）書き換 		

えたんだろうね」

辻元清美衆院議員「真実を知ることができましたか？」

小泉進次郎環境相「私はその時に発言したことは、今もその思いは変わりません。ただいまは安倍内閣の一員として責務を全うすることは当たり前のことだと思っている」

辻元清美衆院議員「森友問題では誰か政治家が責任取りましたか？」

小泉進次郎環境相「どのような質問をされるかということについての通告は受けておりません。ぜひ実りある議論を積み重ねるためにも通告をしっかりといただくことより前向きな議論ができるのではないかと考えております」

辻元清美衆院議員「森友問題のときに官僚に責任を押し付けてはならぬ（と述べた＝検証者注）小泉進次郎に喝采を送ったのですよ。大臣になったら全然違うではないですか。政府の色々な問題をごまかす、清涼剤にあなたが使われるのではないかと心配しているのですよ」

ナレーター「一方こちらにも新聞僚の一人、菅原経済産業大臣にはこんな疑惑が浮上しました。」

本多平直衆院議員（立憲民主党）「(菅原氏の選挙区にあたる)練馬区に住んでいる110人にメロン・カニ、冬はメロン・タラコ・筋子、配ってたんじゃないですか？」

ナレーター「野党側は、菅原経済産業大臣が過去に地元の有権者などに配ったとされる物品リストを示し、事実であれば公職選挙法違反だと迫りました」

菅原一秀経済産業相「確認をするよう、指示を事務局にしたところです」

本多平直衆院議員「すっとぼけたこと言わないでくださいよ。安倍晋三先生にはローヤルゼリーを大で、塩崎（恭久、元厚生労働相＝検証者注）先生にはローヤルゼリーが小、こんな判断秘書ができるのですか？」

ナレーター「また外交問題では、トランプ米大統領が日米安保条約について「日本にはアメリカを防衛する義務がなく不公平だ」などと主張していることについて、安倍総理の認識が問われましたが」

前原誠司衆院議員（国民民主党、元外相）「不公平ということは、トランプ大統領から言及があったのか」

安倍晋三首相「同じ義務ではないけども、バランスが取れたものであるということ述べ、平和安全法制についても（前原氏からの「いいよ」「そんなこと聞いていない」と発言を遮られ）」

前原誠司衆院議員「相手が明確にもう記者会見で言っていることについて、イエスカノーかも答えられないのなら予算委員会なんかできないでしょう。ふざけるなと言いたい」

安倍晋三首相「ふざけるなと言いたいというのは、少し言葉が過ぎるのではないかと。相手の発言を勝手に引用しないというのは（前原氏が）外務大臣を短い期間でございませぬがなされているのですから常識なのではないかと思えます」

VTRを受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「うーん、様々なテーマで論戦が繰り広げられましたが、星さんはどちらに注目したのでしょうか」

星キャスター「久しぶりにヒートしたと思いますが、小泉大臣ですが森友問題の発言で持論を封印してしまって、率直な発言が持ち味だったのですが残念ですよね。菅原大臣の件は、公職選挙法に触れる可能性がありますので、野党は週明けの参議院でも追及を強めると思いますね」

小川キャスター「そして、前の国会ではなかなか予算委員会が開かれなかった中で総理出席に予算委員会とし

では半年ぶりとなりましたが、こういった論戦はやっぱりたくさん聞きたいなと思いますよね」

星キャスター「ある野党の質問者は、2日間徹夜して準備をしたと言っていましたが、まあ真剣勝負となった部分もありましたよね。もっと頻繁に開いてもらえれば」

このトピックに当てられた時間は 281 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・紅海上でタンカーが爆発：結論→特に問題なし

山本キャスターによって「イランのタンカーが海上で爆発しました、ミサイル攻撃の可能性があります。タンカーが爆発したのはサウジアラビア西部の紅海、イランの国営メディアはミサイルに攻撃されたと報じています。周辺海域では5月6月にもタンカーが攻撃を受けていて緊張が高まっています。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 26 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・米エスパー国防長官がトルコ政府に対してシリア北部での攻撃中止を求める：結論→特に問題なし

シリア情勢についてナレーションによって、「トルコのシリア北部への攻撃をめぐりアメリカのエスパー国防長官がトルコのアカル国防相との電話会談で攻撃中止を強く求めました。国防総省が先程発表したもので、エスパー長官は軍事作戦に反対するとのことを伝えたものですが、アメリカが攻撃中止を求めたのは初めてです。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 27 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・政府が北朝鮮漁船との衝突映像を公表へ：結論→特に問題なし

北朝鮮漁船の問題についてナレーションによって「北朝鮮の漁船が水産庁の取締船と衝突した事故をめぐり政府は現場の映像を公表する方針を明らかにしました。これまでは公表に消極的でしたが、菅官房長官は捜査への影響は限定的だと判断したと説明しています。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・大阪府泉佐野市がふるさと納税「除外」で総務省を提訴：結論→特に問題なし

ふるさと納税についてナレーションによって「ふるさと納税の高額な返礼品を巡って国と対立していた大阪府泉佐野市、新制度から除外されたことについて除外の取り消しを求め、総務大臣を相手取って提訴することを発表しました。」とのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 16 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【金曜=第三惑星】領土紛争の解決でノーベル平和賞受賞のエチオピア大統領：結論→特に問題なし

小川キャスターの「昨夜はノーベル平和賞が発表されました。10万人の方が命を落とした隣国との領土紛争をわずか3ヶ月で終わらせたエチオピアのアビー首相に送られることが決まったのですが、一体どんな方法で解決したのでしょうか。」とのスタジオでのコメントの後に以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

"司会「今年のノーベル平和賞はエチオピアのアビー・アハメド首相です。」

ナレ「今年のノーベル平和賞に選ばれたのはアフリカ東部、エチオピアの若き首相アビー・アハメド氏 43歳で

す。1998年、エチオピアは国境にある都市の帰属を巡って隣国エリトリアと衝突。2年間で10万人とも言われる犠牲者を出し、敵対関係が続いていました。アビー首相はこの20年に渡る戦争状態をわずか3ヶ月で終わらせたのです。一体どのように隣国との領土紛争を解決したのでしょうか。アビー首相は就任2ヶ月後、領有権を争っていた都市をエリトリア側に引き渡すことを表明、さらにエリトリアを電撃訪問したのです、それらをきっかけに両国の雪解けが始まり和平協定が調印されました。」

"アビー首相「憎しみではなく愛を、互いに威圧し合うことではなく許しを選んでくれた両国に感謝します。」
ナレ「係争地を隣国に引き渡したことは国内の反発も招き、暗殺未遂にも見舞われたアビー氏ですが、ノーベル賞の受賞後はこう語りました。」

アビー首相「これはアフリカ、そしてエチオピアに贈られた賞です。アフリカの他のリーダーも平和構築への取り組みに前向きになる可能性があると思います。とても嬉しいです。」

VTRをうけてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「このアビー首相の受賞、これはどう星さん評価されますか。」

星浩「ねえ、21世紀はアフリカの世紀と言われて、経済成長に期待されているんですけども、どうしても部族対立がネックになってですね、その部族対立を非常に勇敢に解決に踏み出したということが高く評価されているわけですね。まあエチオピアって非常に親日的な国なので、日本も応援していきたいですね。」

小川彩佳「そうですねえ。憎しみではなく愛を威圧ではなく許しをという言葉がとても印象的でした。」

このトピックに当てられた時間は183秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・輸出管理問題をめぐる日韓対立→結論：問題なし

小川キャスターの「輸出管理を巡る問題で動きがありました。これまで協議を行っていなかった日本ですが、韓国がWTOへの提訴に向けた手続きに入ったことを受けて、スイスで初めての協議が行われています」というコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

大八木友之記者「いま韓国側の代表団がWTO本部に到着しました。これから二国間協議に向かいます」

ナレーター「日本と韓国の協議は、日本時間の昨日夕方からスイス・ジュネーブのWTO本部で始まりました。韓国は半導体材料などの輸出管理の強化は差別的な措置で、自由貿易を促進するWTOの協定に違反すると訴えているとみられます。一方、大量破壊兵器の不拡散などの観点から適切な運用の見直しでありWTO協定との整合的であると改めて正当性を主張しているものと思われ。両国の溝を埋めることは難しく、早ければ来月中旬にも裁判の一番にあたるパネルに審議が移るものとされ、問題の長期化が予想されます」

このトピックに当てられた時間は71秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感

・国会論戦

番組中で取り上げられた衆議院予算委員会の審議のなかで、小泉進次郎環境大臣は、野党側の質問者である辻元清美衆院議員からの「森友問題では誰か政治家が責任取りましたか？」との質問に対し、「どのような質問をされるかということについての通告は受けておりません。ぜひ実りある議論を積み重ねるためにも通告をしっかりとさせていただくとより前向きな議論ができるのではないかと考えております」と答弁し、質問内容に関する事前通告が行われていなかったことを理由に回答を差し控えたが、大臣が所管している環境省の政策に対するテクニカルな質問であるならまだしも、小泉大臣自身の過去の発言を参照したうえで現時点での認識を問う質問であり、通告の有無に関わらず回答を要するものではないだろうか。